

顔登録ガイドライン

顔認証による本人認証で使用する写真は、国際規格に従うパスポート用写真の撮影と同じガイドラインです。

顔認証は登録する写真から本人の特徴点（パーツの大きさ、位置など）を抽出してデータベース化を行います。写真の精度により、特徴点の抽出ができません。また、抽出できる特徴点が極端に少ない場合、他人と判定される確率が高くなります。認証率が低い・誤認証される場合、ガイドラインと比較して修正ポイントを確認してから顔写真の撮影をやり直してください。

不適当な写真の例

顔の向き、表情等



自然な表情で口をとじる。



口をとじ、大袈裟な表情をつくらない。



肩を水平にし、左右に偏らず顔が中央にくるようにする。



目線はカメラに向ける。



下を向かず、正面（カメラ）を見る。



目を閉じない。

服装・装飾品等



タートルネック、マフラー、パーカーのフードなど、衣類などで顔の一部が隠れないようにする。



マスクなどは撮影時には完全に外して撮影する。



無帽で撮影する。

背景※



背景に他の人が写りこまないようにする。



背景に物などが写りこまないようにする。人物（髪の色や服装など）と背景の境界線をはっきりさせる。



背景に撮影対象となる人物の影などがうつらないようにする。人物に当たる光を均一にする。

影・光・目の周り



フラッシュや光等で、人物の顔やその一部が白飛びしないようにする。



光を均一に当て、顔や背景に影がでないようにする。



全体的に暗い写真の場合、光を均一に当て、全体の露出を高くする。



瞳の位置は眼鏡のフレームの中心にくるようにする。眼鏡に光が反射しないようにする。



眉や目に髪の毛が被らないようにする。目の周りの変化は特に認証率に影響があります。



カラーコンタクトは外し、フラッシュやライトの形状の写りこみ、瞳が赤く映らないようにする。

画像品質



ノイズ（画像の乱れ）、ジャギー（階段状のギザギザ模様）、ピンボケした写真は使用しない。



目を大きくしたり、顔のパーツを加工したもの、変形やマスキングなどの画像処理したものは使用しない。



モノクロ写真や画像が粗い写真は使用せず、鮮明なカラー写真を使用する。

※背景は無地（単色）とし、背景と顔（髪）との境界線をはっきりさせること。また、顔や背景に影が写っていないこと。

※撮影するカメラアプリ等によって写真の左右反転する場合がありますが、不適当です。

適当な写真の例

- 顔認証は目の周辺の変化が影響します。髪の毛、眼鏡、つまみづ、まつげエクステ等の一部やその影が写りこまないようにします。



- 輪郭が露出しているもの
- 背景が無いもの（影や写り込みがないもの）
- 人物と背景の境界線がはっきりとしているもの
- 目線・体の向きが正面を向いて撮影されたもの
- 顔登録から6か月以内に撮影されたもの
- 無帽で過度な装飾品は身に付けていないもの
※業務上、打刻する時の容姿を再現するために身に付ける場合、認証率で判断してください
- 写真サイズは、1920×1080ピクセル以上

